

CONTENTS P1 新学長のメッセージ・学長退任のごあいさつ・令和5年度入学式 P2~5 大学卒業制作・卒業論文・短大卒業制作・大学院修了制作
P6 産学連携・衣裳制作協力・教員展覧会・コンテスト P7 [特集] 短期大学部73年の軌跡 P8 ご退職の先生・自治会・INFORMATION

新学長のメッセージ

「SUGINOは新しい教育体制で

皆さんの夢や学びを応援します」

本 学の建学の精神は、挑戦の精神、創造する力、自立（自己表現）する能力の育成です。

現在、日本のファッション産業はかつてないほどグローバル化が進展し、素材生産から消費市場に至るまで様々な課題に直面しています。この状況の中で、ファッション産業の未来を切り開くチャレンジ精神を持って、芸術性・技術力と文化的教養に基づいた創造力を養い、専門職業人として自立できる人材を社会に送り出すことが本学の使命です。

このような使命を果たすため、2015年度に服飾学科のカリキュラムを刷新しました。入学時にモードテクノロジー系とファッションビジネス系のどちらかを選択します。どちらの系に所属しても、初年次は服飾造形の基礎科目とビジネスの基礎科目を必修科目として履修したうえで、2年次から専門コースに分かれて専門教育科目を履修します。

2018年度に開設された服飾表現学科は、ファッションの価値を人々に伝える様々な表現世界で専門家として活躍する人材を養成します。服飾表現の専門領域に対応する5つの専門分野から希望する専攻を選んで、専門的な能力を身につけます。

今、ファッション産業の世界でもSDGs（持続可能な開発目標）に沿った事業への転換が求められています。時代の要請に応える人材の育成を目指して、2023年度から新しい構想での服飾文化学科がスタートしました。

杉野服飾大学には、皆さんが目標に向かってチャレンジし、創造力と個性を伸ばす機会と環境に満ちあふれています。

学長 加藤 敬



学長退任のごあいさつ

私 は本年3月末に学長の任期4年の満了を機に

学長の職を退任させていただきました。平成15（2003）年4月から5期20年にわたって杉野服飾大学の学長として、また、同時に短期大学部の学長として、教職員の皆さん、学生の皆さんと共に大学と短期大学部の運営に携わってきました。この間、日本の大学

教育は教育基準の大綱化の時代を経て、第三者評価による教育の質の改善・向上の確保の時代へと変化しました。この時代の変化の中で、杉野服飾大学と短期大学部の教育研究の進むべき道をどこに求めるか。学長に就任して間もなく設立した両大学の自己点検評価委員会を中心に各委員会の協力を得て、現代の日本の服飾業界における専門職業人の養成に主眼を置いた教育研究の目標を設定し、本学の特色を生かした教育組織の編成に努めました。大学については、2年間ずつの基礎教育課程と専門教育課程の編成から1年間の初年次教育課程と3年制の専門教育課程の編成に改めました。服飾学科の専門コースを再編し、各専門コースの教育目標を具体化しました。新設した服飾表現学科についても各専攻ごとの教育目標を具体的に定めました。教育成果の評価基準も設定しました。卒業生を採用していただいている企業の方々からのご意見と企業に就業している卒業生の方々からのご意見を頂く機会も作りました。

加藤学長のご指導のもとに杉野服飾大学の教育研究がいつそう発展し続けることを祈念して退任のご挨拶とさせていただきます。

杉野学園理事長・杉野服飾大学前学長 中村 賢二郎



2023年度(令和5年度)

入学式挙行

college entrance ceremony

4 月4日(火)、令和5年度の入学式がSUGINO

ホールにて挙行されました。今年度から服飾学部には服飾文化学科が開設され3学科となり、新たな教育体制が始まりました。会場には、4月に就任した加藤学長からのお祝いのことば、自治会長からのメッセージに緊張した面持ちで耳を傾ける新入生の姿がありました。翌日からは新入生オリエンテーションが始まり、First Step in SUGINOでは担任・副担任を交えたクラスの仲間との親睦を深める場面もあり、新たな大学生活に向けてスタートをきりました。



2022年度

大 学

服 飾 学 部 服飾学科・服飾表現学科 卒業制作・卒業論文

短 期 大 学 部 服飾学科 卒業制作

大 学 院 造形研究科 造形専攻 修 了 制 作

大学 服飾学科

モードクリエイション コース



綿野 真代

卒業制作テーマ

Dear...
バルーンスカートのシルエット研究

卒業制作ではバルーンスカートのシルエット研究を基に、ドレスの制作を行いました。新型コロナウイルスの蔓延により、より簡略化した結婚式の需要が高まり、中でもレストランのテラスを利用したガーデンウエディングの人气が高まっていると結婚式場で働く方から聞きました。祝い事も躊躇うこの時代に自分が4年間学んだことを形にする卒業制作では、屋外の自然の中で存在感を示すドレスを作りたいと考え、立体的なバルーンスカートのシルエットと明るいオレンジの布を用いて制作しました。これまで使ったことのない薄くて柔らかい生地だったので扱いが難しく、シルエット形成にとっても苦労しました。1/2サイズでトルク作成や実物補正を繰り返して、納得のいくシルエットが出来たと思います。



大学 服飾学科

インダストリアル パターンコース



神田 梨央

卒業制作テーマ

キャンパス

真っ白なキャンパスは私達が“いろ”をつけることで、どんなものにも変化することができます。その“いろ”は人それぞれ異なります。私は白系統に統一様々な生地を使用することで、どんなものにも変化できるキャンパスを表現しました。これまで私はフリルについて研究し、ギャザー量に対するシルエットの変化について学んできました。そのため作品を作るうえで、特にギャザーを使ったデザインにこだわりました。3次元計測での計測値で作った原型を使い、シミュレーションを繰り返すことでモデルにあった理想の形にすることができました。作品には私の好きをたくさん詰め込んだため、私の“いろ”を表現することができたと思います。



大学 服飾学科

テキスタイル デザインコース



木崎 絵里

卒業制作テーマ

呼吸

手仕事や伝統工芸への興味、憧れが強くあり、テキスタイルデザインコースへ進みました。授業では糸や生地、柄のデザインなど幅広く学ぶことが出来ました。そこで得た知識や技術から、興味のある技法を選び、これからも携わっていききたい染のきものと織の羽織を制作しました。テーマは「私のこれまで」と深く関わってきた和太鼓の演目です。作るものや、工程が決まっている「授業課題」ではなく「自分の作りたいもの」として、コンセプト、デザイン、技法など、全て一から自分で考え試行錯誤する制作は有意義で面白く、これからは必要などとも良い経験だったと思います。「つくる」を大切にし、卒業後も染織をしながら暮らしたいと思います。



ファッションプロダクトデザインコース



大木 佳那子

卒業制作テーマ

MUL

ファッションプロダクトデザインコースでは、個人とグループでバッグを2作品、その他に個人の帽子を制作します。私の個人制作のテーマは「MUL」で、水という意味です。流れる水、透き通るガラスのような水滴、ゆらゆら揺らぐ水面。これらの心地良く美しい水の様子を作品で表現したいと思いこのテーマにしました。また、制作する上でバッグと空間との調和を考え、持ち手には木材を使用しました。革のバッグに木材をどう取り込むかという点で試行錯誤しましたが、時間をかけ考えていくことで方法を見出すことができました。思い返すと、大学の4年間で水やガラス、木に魅力を感じ、それらをテーマに他の作品も制作してきたので、この「MUL」をテーマに卒業制作を完成させることができても嬉しいです。



ファッションビジネス・マネジメントコース



西村 まどか

卒業論文テーマ

「メットガラ ドレスをまとった美術館」から学ぶ社会情勢
- 出演者が表現するファッションと社会情勢 -

ファッションと社会との関わり、そして社会情勢にも視野を広げた時、米国で開催されるファッションの祭典「メットガラ」に興味関心を持ち、卒制の研究対象として掘り下げる事とした。世界の著名人が多く出演する中、祭典で煌びやかな衣装を身に纏うのは自身をより良く魅せるという目的だけではなく、近年注目されているSDGs17の目標に関連した環境問題や差別問題等の問題提議や、暮らしやすい世の中の創造を目指す自身のメッセージや思想等を衣装に反映させるケースが存在する。このように出演者が表現するファッションと社会性について考察し、それらに対して我々がどう向き合うべきかを考える必要性があると感じた。ファッション業界と密接な相関性の強いSDGs等について、今後より一層理解を深めていきたい。



ファッションビジネス・流通イノベーションコース



山崎 萌愛

卒業論文テーマ

ヴィレッジバンガードにおけるECの販促
～サブカルチャーのECについて～

私はサブカルチャー企業であるヴィレッジバンガードにおけるECの販促について論文を執筆しました。私が実際にヴィレッジバンガードで働いていたことで得られる情報を活かして、この企業の運営の仕組みについて深堀りと分析をしました。本論文における仮説はサブカルチャー業界においても「コロナ終息後もECの売上は伸び続けるのではないか」「様々な企業の取り組みや成功体験の利点を組み合わせれば売れるEC販促は可能なのではないか」の二つです。アンケート調査によるコロナ禍におけるECの現状把握やインタビューを通じた情報提供、ECが売れている企業の利点分析などをまとめ、今後はPR力やSNS発信による顧客への販促強化から、ヴィレッジバンガードにおけるECの売上向上と未来を考えました。



衣装表現専攻



松澤 果穂

卒業制作テーマ

赤

私は舞台上で赤の衣装を実際見た時、一瞬で目を引かれ強烈な印象を受けました。赤色は、血や火を連想させ、本能に訴えかける色です。そこで赤色をメインに使用し、キャラクターを作り上げ衣装でどう表現できるかを目的に1年間の研究テーマを「赤」にしました。サブテーマを陰と光に設定し、陰の赤で1体、光の赤で2体の計3体を制作しました。メインに使用したそれぞれの赤色は各キャラクターの性格や執着、吉兆など、幅広い感情をしっかりと表現する色を選出しました。



スタイリング専攻



市田 麻弥

卒業制作テーマ

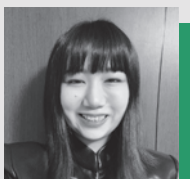
「真の代償」

ーファストファッションがもたらすものー

SDGs(持続可能な開発目標)に目を向け設けられた「ドレスから未来へのメッセージ」という専攻テーマの中、個人テーマに「真の代償」ーファストファッションがもたらすものーを設け古着からドレスを制作し、ポスターとして作品を発表した。安い服が簡単に手に入る今、その安さの裏側を想像したことはあるだろうか?そこには不当な労働や多くの環境破壊があると知った。普段身につけているモノの裏に潜む真実に恐ろしさを覚え、意識改革の必要性を訴えかけるために制作をした。古着を集める過程で、持ち主と服との思い出に触れ、モノを長く大切に扱うことの精神的な価値に気がついた。刹那的な欲を満たす消費行動ではなく、価値ある消費行動が取れる意識が広まることを強く願う。



VMD(ビジュアルマーチャンダイジング)専攻



山口 茂恵

卒業制作テーマ

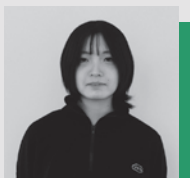
〈Luxe Chinese Red〉

ー躍進する中国の未来を創造したファッションー

中国の伝統的な様式に、今時の流行ファッションを融合させ、中国の春節をイメージした店舗ディスプレイに、デザイン性の高い洋服、化粧品、小物等で豪華な期間限定ポップアップショップを制作しました。場所はラフォーレ原宿1階を想定しております。壁面には目を惹く装飾品を多く飾ることで、商品が引き立つように構成しました。このテーマを選んだ理由は、ワンホンと呼ばれる中国インフルエンサーの方々のチャイボーグメイクや、中国のデザイナーブランドに魅力を感じたからです。チャイボーグメイクを施した、美しいリアルマネキンを使い、赤と黒でVPのマネキンコーデを組みました。



ショープロデュース専攻



和田 えり

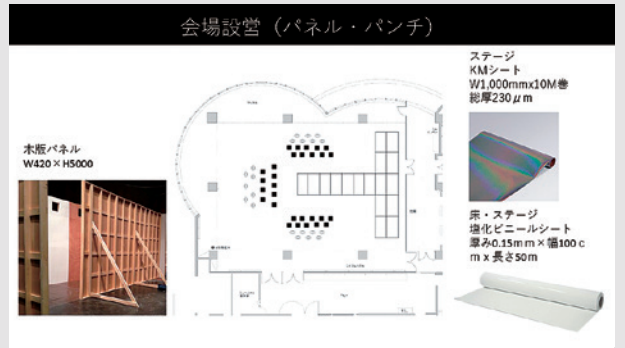
卒業制作テーマ

「Expansion」

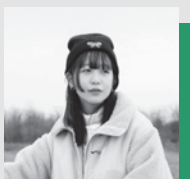
ー拡張するファッションショーー

本卒業制作では、ファッションショーの実践的な企画・立案を行った。

主な制作物は、ショーを開催する際に必要となる企画書、会場の内装を示す縮尺模型、卒業制作にあたっての調査や研究を纏めた研究ノートの3点。私は「デジタルファッション」を題材に、AR技術を取り入れたショーの企画・立案を行い、実際にショーを行う事を想定して企画書の制作を行った。研究ノートでは、題材であるデジタルファッションが今のファッション業界にどう関わっているのか、ARなどデジタル技術を取り入れたショーは過去どのようなものがあったのかといった企画に関する事柄について情報を纏め、演出に関する考察を行っている。また、上記3点の他にショーで使用する想定した3Dモデルと映像の制作も行った。



映像・メディア表現専攻



加藤 千晶

卒業制作テーマ

〈INSTANT CHILL PARADISE〉

ー存在しない音楽アーティストのアートディレクション あるいは、ー

「パッケージ」というメディア表現について考え、映像、ブックレット、衣装、展示空間、をトータルディレクションし、制作。インсталレーション形式での展示発表を行った。衣装の制作と並行して、動画の設計図とも言える絵コンテの作成、香盤表の作成、撮影スタッフとの事前打ち合わせでの情報共有、など、限られた時間内での撮影がスムーズに進むよう、事前に入念に準備をした。

本制作は、自分が幼い頃から親しみ、影響を受けてきたインターネットカルチャーと音楽カルチャーの色を出したものになった。自分が今まで培ってきた技術や知識をフル活用し、自分ならではの卒業制作にすることが出来た。媒体問わず何かをつくるのが大好きなため、制作時間はタイトではあったが、本当に楽しいものであった。



短期大学部

フォーマルドレス



畠山 寛未

卒業制作テーマ

Magic that makes me shine

私は高校時代、ドレスを作りたいと思い杉野に入...
私には高校時代、ドレスを作りたいと思い杉野に入...
私には高校時代、ドレスを作りたいと思い杉野に入...



短期大学部

コスチューム



前田 怜央菜

卒業制作テーマ

SDGs

2年間最後の作品ということで、派手に終わらせたい...
2年間最後の作品ということで、派手に終わらせたい...
2年間最後の作品ということで、派手に終わらせたい...



短期大学部

スーツ



増山 月渚

卒業制作テーマ

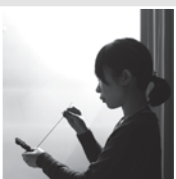
Regina

2年間の集大成となる卒業制作では、身に着ける...
2年間の集大成となる卒業制作では、身に着ける...
2年間の集大成となる卒業制作では、身に着ける...



大学院

造形研究科造形専攻



鈴木 麻希子

修士制作テーマ

「縫う」

銀座の奥野ビルにあるART GALLERY石で修了...
銀座の奥野ビルにあるART GALLERY石で修了...
銀座の奥野ビルにあるART GALLERY石で修了...



オリジナルTシャツを

ネットショップのFutureshopで販売する

ECプラットフォームを運営する株式会社フューチャーショップと産学連携の授業を進めています。5チームに分かれ、学生がデザインをしたプリントTシャツを業者に発注し原価計算をします。商品企画の指導は、D2Cで成功している「もりのがっこう」代表の後藤麻美先生です。原価から販売価格を考える時、利益が赤字ではビジネス失格です。販売見込みから適正な価格を決定します。2週間でサンプルが上がり、各チームの撮影が開始されます。ECショップページに載せる商品写真と、集客のためのSNSの動画や写真を撮影して、販売前から発信をして準備を進めています。ECで注文を受け、商品を生産して発送する予定ですが、各チームの販売枚数を競います。

ファッションビジネス・流通イノベーションコース主任 五月女 由紀子



産学連携プロジェクト

(株)ワールド×(株)ティンパンアレイ×FBマネジメント

No shirt No life

産学連携プロジェクト(3年次)にて「No shirt No life」をコンセプトにチームでブランド創りを行い、そのアップサイクル企画品として「自然に溶け込む」をテーマに商品制作を行いました。私は「太陽と海」をモチーフにデザイン・制作を担当。Sol shirtは2つの要素を持つ太陽の光を影と陽でシャツに落とし込み横縞に絞り染めを行いました。柄の風合いが変わりやすいので染めない部分の調整と模様を凄く拘りました。



またOcean shirtは、あえて固めの生地をフリルにする事で、今にも動き出しそうな力強い波を表現。こだわりの詰まった商品を、実際に店頭でお客の元にお届けできた事、またブランド企画から販売までのプロセスを学べた事は非常に良い経験となりました。

ファッションビジネス・マネジメントコース4年 石塚 綾

スーパー戦隊シリーズ

「王様戦隊キングオージャー」の衣装制作

昨年に東映株式会社から衣装制作ボランティアのお話をいただき、服飾学科の2年生から4年生の学生30名が制作に参加しました。

番組プロデューサーのリモート説明会を受け、各自授業や課題制作の合間を縫って、劇中に登場する王様の側近役の衣装や、街の人々の衣装などを多数制作。衣装制作は多くの学生が関心を持つジャンルであり、スーパー戦隊という大ヒットシリーズに携わる貴重な経験となりました。番組内クレジットには「衣装制作協力」として杉野服飾大学と制作者の名前が掲載されています。毎週日曜午前9時30分から、テレビ朝日系にて放送中です。是非ご覧ください!



(入試広報課)

杉野服飾大学美術系教員 Drawing展

本学の教員でありながら作家でもある6名の、Drawing(素描)の展覧会です。

普段はそれぞれ、特別な素材や技法、或いは非物質的な方法で創作を行っていますが、会場には、文房具と同等の身近な道具を使い、ノートに言葉を書き留めるかのような軽やかな手法で現されたものが並びました。しかしここでは、苦悩の過程を刻み込んだり、己の意識下から発掘をしたり、自らの行いを振り返ったりした創作の熱意の凝縮が感じ取られました。出品者全員が本学の感性面での教育に携わっているという立場であるが故に、自らも絶えず能動的にもつくりを進行(…ing)している姿、ある種の表わしの展示でもあったかと思えます。

[会期: 2022年11月21、22、24、25日/会場: Gallery U2]

大学院造形研究科主任 瀬古 徹



出品者 江原真理子[ジュエリー作家、工芸室]、桐山征士[彫刻家、大学院他]、瀬古徹[美術作家、大学院他]、タナベルン[美術作家、表現演習研究室]、千代崎寛[美術作家、大学院他]、土屋純一[美術作家、色材演習他](五十音順、敬省略)

CONTEST

一般社団法人日南市観光協会 日南サンフレッシュレディ制服デザインコンテスト 春夏デザイン優秀賞受賞

コンテストの趣旨は、宮崎県日南市をイメージさせ、特徴的でインパクトのある春夏及び秋冬用の日南サンフレッシュレディの制服デザインの募集でした。

私の作品のデザインコンセプトは、「世界中の人々から愛される日南」です。日南は、自然豊かな場所であり、スイートピーが有名なことから、緑やスイートピーの花をデザインに取り入れました。制作でこだわったポイントは、2点あります。1点目は、コンセプトにあるように日南が人々から愛される場所や親しまれる場所になることを願って、全体的に柔らかな色合いにしたところです。2点目は、スタイルがより美しく見えるようにウエストベルトをつけてメリハリのあるデザインにしたところです。

モードクリエイションコース4年 木内 マリヤ



学生ビジネスプランコンテスト アイデア賞受賞 13年振りの受賞

ファッション市場では商品に連動した付加価値の創造が重要度を高めており、顧客体験を通じた価値提供をサービスに取り入れようと考えました。

若年層に評価を得ている骨格診断に着目し、「自分を知る」と「似合う服」を直結させ骨格診断自販機を新ビジネスモデルとして提案。骨格の基準から購買に繋がる消費者が増える事を見据え、若年層の多いファッションビルに設置します。対象顧客に加え、インショップとの契約を図り、診断を元に各店舗への送客を行うことでD2CでありながらBtoBのビジネスモデルにもなっています。また購入時の満足度向上から「長く着れる服」=捨てる服の削減にも繋がり、結果的に環境保全にも貢献出来るものと考えます。

ファッションビジネス・マネジメントコース3年 安部 奏海(代表執筆)・齊藤 歩夏



本学短期大学部は2023年3月、73年間続いたファッション教育の舞台に幕を降ろしました。戦後、1947(昭和22)年に学校教育法が施行され、新制大学が設置されていく中で女子の高等教育の場も拡大していきました。既にその頃、本学園ドレスメーカー女学院は日本を代表する洋裁学校として全国に功績を積み重ねていたことで文部省からの要請を受け、1950(昭和25)年、大学機構による2年制の大学(短期大学)として杉野学園女子短期大学が開学します。専門職業に重きを置く教育の場として、また教職課程も設置され、技術教育・教養教育共に充実したカリキュラムが組み込まれました。さらに1962(昭和37)年には、これまでの被服科に加え、「生活」に関連あるものを造形芸術面からアプローチし、造形の基礎と豊かな感覚を育てることを教育目的に生活芸術科を増設、短期大学部は時代の変化と共に改組転換をはかりながら発展し続けてきました。開学以来の卒業生は被服学科・生活芸術科あわせて総勢20,244人。多くの専門職業人を生み出した短期大学部の教育の軌跡を年譜で振り返ります。

歴代の学長

1950(昭25)	古宇田 実
1955(昭30)	杉野 芳子
1979(昭54)	岩澤 英一
1999(平11)	中原 好文
2003(平15)	中村 賢二郎

歴代の被服科学科長

1950(昭25)	—
1967(昭42)	今井 絹子
1998(平10)	越田 弘子
2003(平15)	渡辺 波江
2010(平22)	森田 裕子

歴代の生活芸術科学科長

1962(昭37)	中井 信彦
1965(昭40)	松谷 彊
1966(昭41)	樽松 正利
1975(昭50)	高田 秀三
1977(昭52)	樽松 正利
1991(平3)	青木 伸

- 1950(昭25) 杉野学園女子短期大学開学、被服科設置。杉野学園服飾図書館開館
- 1953(昭28) 短大校舎・体育館落成。落成記念杉野芳子ニュー・デザイン・ショウ開催
- 1957(昭32) 杉野学園衣裳博物館開館
- 1958(昭31) 第5回全日本大学女子バスケットボールで杉野短大チーム優勝。57：43で準優勝は日本女子体育短期大学
- 1959(昭34) 短期大学寄宿舎西睦寮落成
- 1960(昭35) 短大創立十周年記念式典挙行。'60-'61冬春・杉野芳子デザインショウ開催
- 1962(昭37) 杉野学園短期大学に生活芸術科設置。学生は被服、絵画、ビジュアル、クラフト、インテリアから2科目を選択
- 1964(昭39) 杉野学園女子大学開学。短大は杉野学園女子大学短期大学部となる
- 1966(昭41) 校名を杉野女子大学・杉野女子大学短期大学部とする。杉野講堂落成
- 1969(昭44) 生活芸術科はこの年から卒業制作展を行う。日本私立短期大学協会創立二十周年記念式典において杉野繁一理事長が表彰される
- 1973(昭48) 大学・短大・ドレメの学生研修「日米文化交流・ファッション研修会」開催(於、杉野講堂)
- 1980(昭55) 短期大学制度創立三十周年記念式典において被服科長今井絹子教授、体育主任伊藤節子教授が女子高等教育の功労者として表彰される
- 1981(昭56) 学芸員基礎課程開講
- 1983(昭58) 大学・短大相互で単位互換制度はじまる
- 1985(昭60) 学園創立60周年を機に大学・短大・ドレメの学生を対象に「杉野学園夏期集中コース」(4日間)開講
- 1992(平4) 大学・短期大学設置基準の一部改正に伴い、短大卒業生に「準学士」の称号が与えられる
- 2000(平12) 短大にドレスクリエーション、コスチュームクリエーション、アパレルクリエーション、ライフスタイルクリエーションの4コースを開設
- 2002(平14) 校名を杉野服飾大学・杉野服飾大学短期大学部と変更し、男女共学となる
- 2003(平15) 生活芸術科閉科
- 2006(平18) 後の社会貢献プログラムにつながる宝保育園・八潮児童センターでワークショップを始める
- 2009(平21) 文部科学省の平成21年度「大学教育・学生支援推進事業(テーマB)学生支援プログラム」において、「ファッションアドバイザー育成を軸とした教育と就職支援体制の構築」が採択され、この取り組みを踏まえ、翌年には大規模なカリキュラム改革を行う
- 2011(平23) 本学共同研究奨励補助金研究制度にて情報コンテンツ(動画)制作ソフト「ThinkBoard」によるe-ラーニング教材を作成、授業に活用する
- 2012(平24) 上記「ファッションアドバイザー育成を軸とした教育と就職支援体制の構築」が日本学生支援機構より「S」の評価を受ける。同機構のホームページで「優秀事例集」に取り上げられ公開された
- 2014(平26) 社会貢献プログラムに関して「杉野服飾大学短期大学部学生の社会貢献活動に関する協定書」を品川区と締結。11月東京都私立短期大学協会秋季フォーラムにて事例発表。公益社団法人私立大学情報教育協会主催、教育改革ICT戦略大会にて「情報コンテンツ制作ソフトを用いたe-ラーニング教材作成とソフト活用方法の試み」について発表
- 2020(令2) 新型コロナウイルス感染拡大、遠隔授業、感染予防対策をとったの対面授業等、学生の事情に寄り添う形で対応
- 2021(令3) 短期大学部の学生募集停止
- 2023(令5) SUGINOホールで最後となる卒業制作発表会を有観客で行う



ドレーピング 1959



被服工作 1965



杉野講堂での卒業式 1966



デッサン 1967



インテリアデザイン 1984



パターンメイキング 1995



社会貢献プログラム 品川区八潮児童センター 2022

ご退職の先生

森田 裕子 先生

1985年4月	杉野女子大学短期大学部	専任講師	2003年4月	杉野服飾大学短期大学部	教授
1996年4月	杉野女子大学短期大学部	助教授	2010年4月	杉野服飾大学短期大学部	服飾学科長
1999年4月	杉野女子大学短期大学部	被服科長補佐			

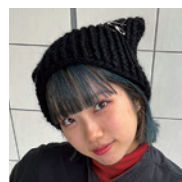


森田先生は昭和52年に短大の副手(現在の技術助手)として勤務をスタートされ、平成22年からは学科長に就かれ、46年間の長きにわたり、短大の教育に力を注がれました。

学生が2年間にいろいろな経験が積めるための特色ある授業や取組みを考えるなかで、アイデアの多くは先生発信で始まることが多々あり、その源は何かから? その案、いい!と思うことの連続でした。また、日頃の会話や書かれる文章から物事への興味関心の深さをいつも感じておりました。さりげなく個性的な服装(私見です)で、ワクワク感と刺激をいただいております。近い距離間での仕事、さまざまな経験をさせてもらったことに感謝しております。どうもありがとうございました。

服飾文化学科 服飾造形研究室 井口 多恵子

自治会長あいさつ



2023年度自治会会長になりました学部3年田地川 薫です。学生自治会では主に大学祭の企画運営をしています。ここ何年かは新型コロナウイルス感染症の流行によりあまり活動できませんでした。今年度は定期的に集まれる機会を設け、みんなが仲良くなれる場所にしたいと考えています!先輩や後輩、クラスの違う同級生と仲良くなりたい!学校生活を充実させたい!そんな方はぜひご参加ください!!!

モードクリエイションコース3年 田地川 薫

INFORMATION

図書館

図書館では、1F閲覧席近くの書架を利用し、テーマに沿った本の紹介をしています。学生、教職員の皆さまに多くの本と出会う機会となるよう、毎回奮闘しています。4月は「大学生活 初めましての一冊」と題して、新年度におすすめの本としてファッションをはじめ、哲学、心理学、文芸書といった幅広いジャンルから選びました。新テーマへ切替えの際には、SNSでもお知らせをしていますので、ぜひチェックしてみてください。



博物館

博物館では「色をよそおう -黒いドレスを中心に-」展を開催中です(7月28日まで)。服飾における重要な要素のひとつである、色をテーマにドレスを展示しています。1階展示室ではリトル・ブラック・ドレスを中心とした黒を用いたドレスを、また2階展示室では色鮮やかなドレスをご覧ください。ぜひ皆様のご来館をお待ちしております。

※本学学生・教職員は無料。
学生は、受付にて学生証をご提示ください。



2022年度 杉野学園奨学生決定

2022年度の杉野学園奨学生に以下学生たちが選ばれました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、3月の伝達式は中止となりましたが、今後もさらなる研鑽に努めて頂きたいと思っております。

所属	人数
杉野服飾大学	4名
杉野服飾大学短期大学部	1名
ドレスメーカー学院	2名

2022年度 検定合格者数

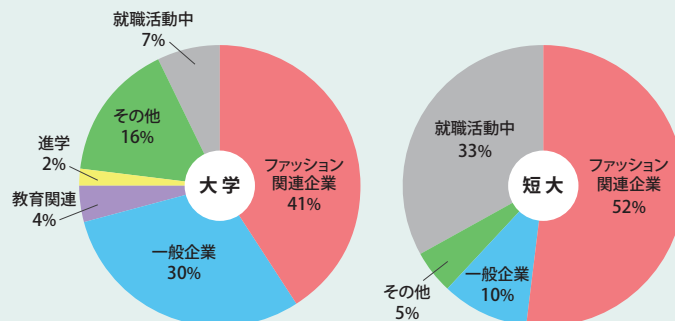
検定種別	2級	3級
ファッション色彩能力検定	大学56名	大学67名
パターンメイキング技術検定	大学14名	大学11名
ファッションビジネス能力検定	大学13名	大学20名
ファッション販売能力検定	大学18名/短大2名	大学20名/短大5名

教務部

2023年度前期末の授業・諸行事について

6/5(月)~24(土)	4年教職課程教育実習
7/4(火)	補講日
7/31(月)	前期平常授業終了
8/1(火)~5(土)	試験・補講・集中
8/8(火)	採点結果発表・追再試手続き
8/9(水)	夏季休業開始
8/9(水)~23(水)	一斉休業(全学)
9/1(金)~4(月)	追再試験
9/4(月)・5(火)・9(土)~12(火)	集中授業・2年映像制作(日野)
9/7(木)・8(金)	追加履修申告期間
9/7(木)~16(土)	集中他
9/8(金)	成績通知書手渡し・1年生防災訓練
9/13(水)~15(金)	見学・研修期間
9/19(火)	後期平常授業開始

2022年度 就職状況



《主な就職先一覧》

青山商事(株)、(株)アグストリア、アニエスベージャパン(株)、(株)エフリード、(株)キャン、(株)三景、(株)三陽商会、(株)シップス、(株)ジャンメ、(株)ジュン、(株)ストライプインターナショナル、(株)ハツコエンドウウエディングス、(株)パル、(株)パロックジャパンリミテッド、(株)ビームス、(株)美匠、(株)ファイブフォックス、MARK STYLER(株)、(株)マッシュスタイルラボ、(株)ヨウジヤマモト、(株)ワールド 他

《就活生に向けてのメッセージ》

コロナ禍で各企業が新卒採用を抑制し就職活動が困難な状況になりましたが、2022年度の卒業生の求人は、ファッション業界含む全業界で新卒求人が回復しました。特にデザイナー職や企画職など、大学での学びを活かした職種で就職した卒業生が増加しました。新卒採用に力を入れる企業が増えてきていますので、早めに対策し就職活動に臨んでください。

SUGINO 杉野服飾大学報 No.43

編集 鈴木 桜子、井口 多恵子、伊藤 高広、数井 靖子、高橋 大夢、羽賀 友美、水越 綾

発行日 2023年6月30日

発行 杉野服飾大学教授会 印刷 カラー印刷株式会社